

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平 5 - 1 8 1 2 0

(43) 公開日 平成 5 年 (1993) 3 月 5 日

(51) Int. Cl. ⁵

H 0 3 H 9/02

識別記号

庁内整理番号

8221 - 5 J

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2

(全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平 3 - 6 3 9 3 2

(22) 出願日 平成 3 年 (1991) 8 月 13 日

(71) 出願人 000003067

ティーディーケー株式会社

東京都中央区日本橋一丁目 13 番 1 号

(72) 考案者 山下 喜就

東京都中央区日本橋一丁目 13 番 1 号 ティーディーケー株式会社内

(72) 考案者 及川 泰伸

東京都中央区日本橋一丁目 13 番 1 号 ティーディーケー株式会社内

(72) 考案者 杉本 正信

東京都中央区日本橋一丁目 13 番 1 号 ティーディーケー株式会社内

(74) 代理人 弁理士 三澤 正義

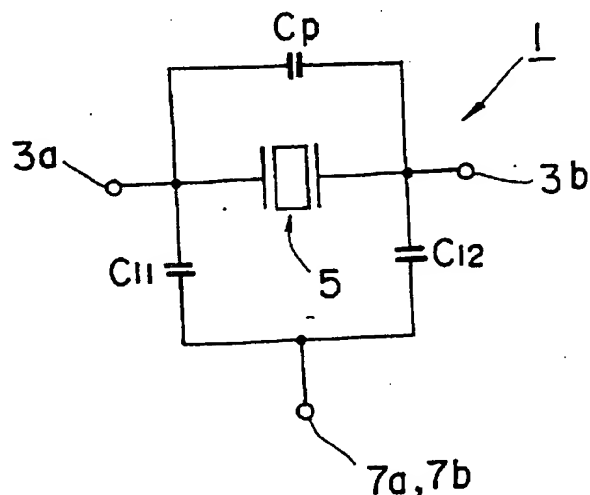
最終頁に続く

(54) 【考案の名称】 圧電共振部品

(57) 【要約】

【目的】 スプリアス振動を容易に回避できる圧電共振部品を提供する。

【構成】 本部品 1 は、誘電体基板に圧電振動子 5 を搭載し、本考案に係るコンデンサ C₀ を圧電振動子 5 に並列に接続したものである。共振周波数と反共振周波数との間の利用領域内にスプリアス振動が現れても、当該コンデンサ C₀ の容量を変更することにより、利用領域をスプリアス振動の周波数からずらせる。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 誘電体基板上に圧電振動子を搭載した圧電共振部品において、前記圧電振動子に並列又は直列にコンデンサを接続したことを特徴とする圧電共振部品。

【請求項2】 前記コンデンサは前記誘電体基板の表面又は内部に形成された請求項1記載の圧電共振部品。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の第1の実施例の圧電共振部品の断面斜視図である。

【図2】 図1におけるA矢視図である。

【図3】 図1に示す部品の内部回路図である。

【図4】 図1に示す部品の周波数特性図である。

【図5】 本考案の第2の実施例の圧電共振部品の斜視図

である。

【図6】 図5におけるB-B線断面図である。

【図7】 図5に示す部品の内部回路図である。

【図8】 図5に示す部品の周波数特性図である。

【図9】 従来の圧電共振部品の内部回路図である。

【図10】 図9に示す回路構成の周波数特性例を示す図である。

【図11】 図9に示す回路構成の周波数特性例を示す図である。

10 【符号の説明】

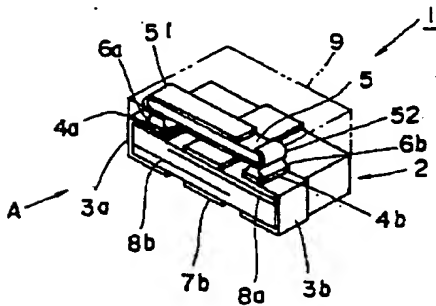
1 圧電共振部品

2 誘電体基板

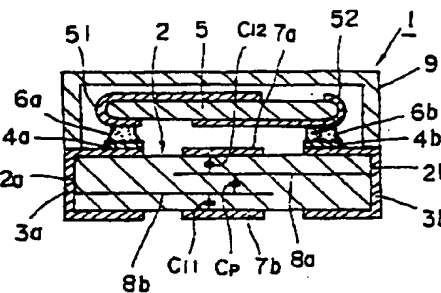
5 圧電振動子

C。 コンデンサ

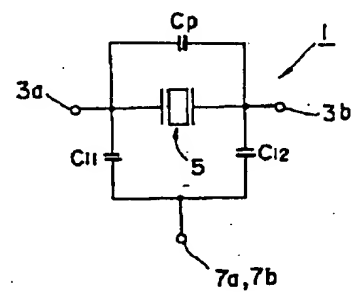
【図1】



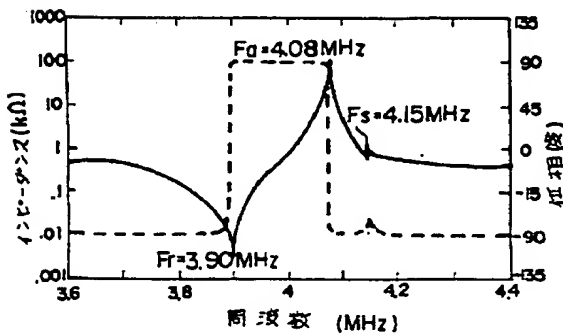
【図2】



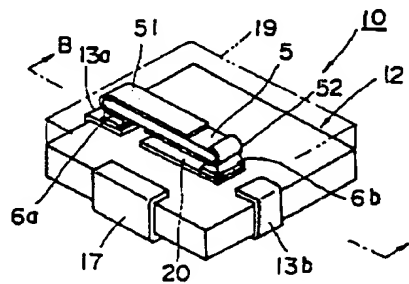
【図3】



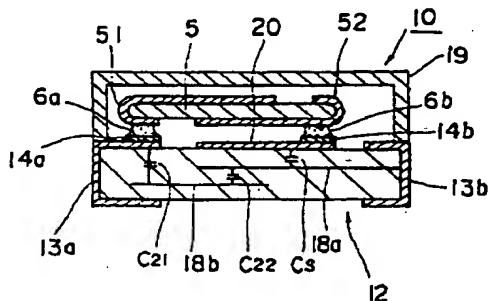
【図4】



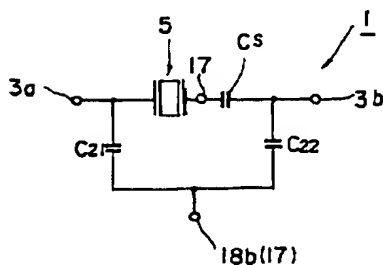
【図5】



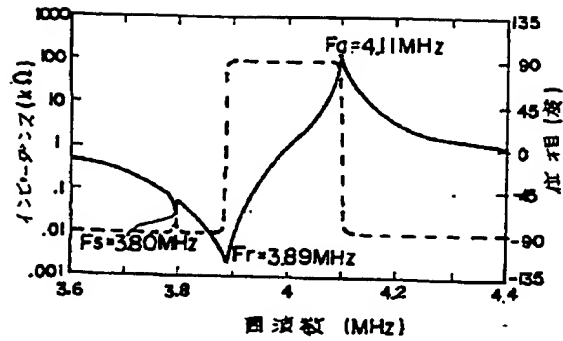
【図6】



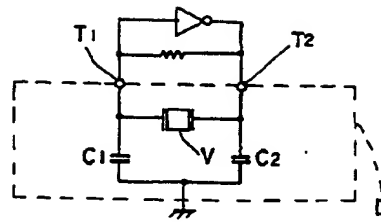
【図7】



【図8】

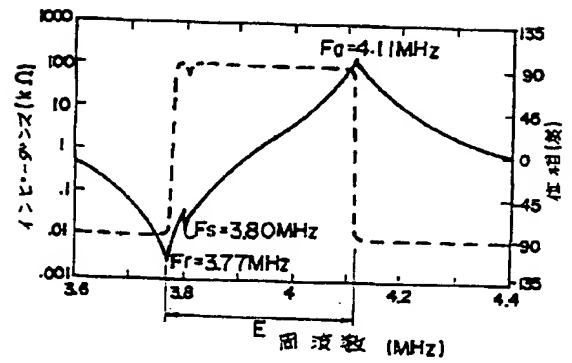
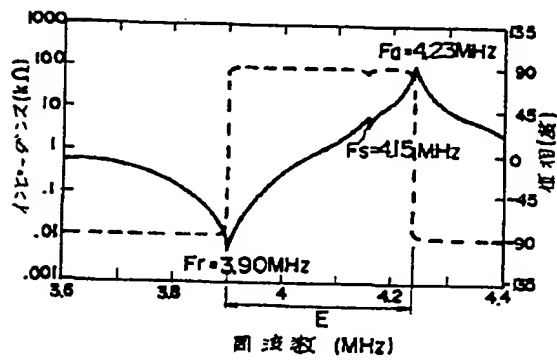


【図9】



【図11】

【図10】



フロントページの続き

(72) 考案者 小山内 勝則
東京都中央区日本橋一丁目13番1号 ティーデーケイ株式会社内